

2012 年度オールメルコ・QS0 パーティのご案内

2012 年度のオールメルコ・QS0 パーティを以下の規約にて開催致しますので、多数の参加をお願いします。

【QS0 パーティ規約】

【主催】 三菱電機アマチュア無線クラブ（幹事：京都/JA3YJ0 三菱電機洛菱会アマチュア無線クラブ）

【開催日時】 2012 年 10 月 28 日(日) 10 時 00 分～14 時 00 分（4 時間）

【参加資格】 三菱電機アマチュア無線クラブメンバ（OB 会員、個人会員を含む）

【使用周波数帯】 7MHz, 21MHz, 50MHz, 144MHz, 430MHz 帯の 5 バンド

【参加部門・種目】

部 門	種 目
社団局	マルチバンド
個人局	マルチバンド
	7MHz 帯シングルバンド
	21MHz 帯シングルバンド
	50MHz 帯シングルバンド
	144MHz 帯シングルバンド
	430MHz 帯シングルバンド
クラブ対抗	各個人局の得点をシングルバンドで再計算し、所属クラブ毎に集計

※参加部門全て電波形式はマルチモードで、VoIP(WIRES, ECHO-LINK 等)による交信も可

※参加は 1 局 1 種目だが、クロス確認のため交信全てのログを提出すること

【呼び出し】 電話「CQ メルコ」、電信「CQMD」

【交換する通報】

[電話]

- ・RS+市郡区 NR+所属クラブ(メルコ〇〇)、OB の方は退職時の所属クラブ
- ・個人会員の場合は、RS+市郡区 NR+所属場所名(例：大阪)
- ・海外運用局の市郡区 NR は、ZONE-NR(WWDX コンテスト形式)

[電信]

- ・RST+市郡区 NR+クラブコールのサフィックス 3 文字
- ・個人会員の場合は、RST+市郡区 NR+個人のイニシャル 2 文字
- ・海外運用局の市郡区 NR は、ZONE-NR(WWDX コンテスト形式)

【禁止事項など】

- ・ゲスト OP の運用は禁止
- ・コンテスト中の運用場所の変更を認める
- ・クロスバンドの交信を認めるが、運用バンドは自局の送信バンドとする
- ・クロスモードの交信は認めない

【得点】

提出ログのクロスチェックを行い、確認されたものを得点の対象交信とする。

固定局電話 1 交信 1 点、電話以外 1 交信 2 点、移動局電話 1 交信 2 点、電話以外 1 交信 3 点

- ・同一バンドの重複交信でも電波形式が異なれば得点とする
- ・同一バンド、同一電波形式の重複交信でマルチが異なる場合、選択した交信のマルチだけ有効
- ・当クラブメンバ外の一般局との交信は得点にならない
- ・移動局とは移動先に既設の商用電源が無い場所での運用をいう
- ・個人会員の得点は、クラブ対抗部門にカウント集計しない

【マルチ】

- ・異なる市郡区 NR および ZONE-NR をマルチとする

【得点計算】

- ・マルチバンド：(各バンドにおける得点の和) × (各バンドにおけるマルチの和)
- ・シングルバンド：(当該バンドにおける得点の和) × (当該バンドにおけるマルチの和)

【提出】

添付資料の要領で記載し、電子データで提出する。メモリ媒体での提出も可とするが媒体は返却しない。

提出締切：2012 年 11 月 28 日 24:00（郵送の場合消印有効）但しチェックログは順位確定まで認める。

提出先：個人情報にて記載省略

【表彰】

下記上位 3 位迄を入賞とし、表彰状と粗品を進呈する。

- ・社団局部門(クラブコール運用)：上位 3 局
- ・個人局マルチバンド部門：上位 3 局
- ・個人局シングルバンド部門：各バンド上位 3 局
- ・クラブ対抗の部門：上位 3 クラブ

(個人局が所属するクラブ毎に個人局の得点を集計)

<補足> 当メンバとの交信を容易にするため、下記時間帯と周波数での運用を推奨する。

10:00～10:30, 12:00～12:30, 13:30～14:00

(SSB)：7.130MHz±5KHz, 7.180MHz±20KHz, 21.400MHz±20KHz,

50.380MHz±20KHz, 144.280MHz±20KHz, 430.280MHz±20KHz

(FM)：チャンネルプランに従う。呼出周波数は 51.00MHz, 145.00MHz, 433.00MHz

(AM)：チャンネルプランに従う。呼出周波数は 50.50MHz

(CW)：7.015MHz±2KHz, 21.120MHz±5KHz, 50.380MHz±20KHz, 144.150MHz±5KHz, 430.150MHz±5KHz

当メンバの良識を信じ、失格事項は明記しないが、提出のログは会報にて公表することもある。

※その他、入賞者以外の運用者には参加賞あり。

・ QSO パーティ参加局

表彰対象から外れた個人局、及び社団局の運用者には参加賞を贈呈する。

(社団局の運用者名も忘れずに、サマリーへ記入のこと)

但し、個人局と社団局の両方で運用しても参加賞は一人につき1個とする。

表彰の詳細説明

・ 社団局 (クラブコール) 部門

クラブコールで運用した社団局の上位3位迄を表彰、シングルバンド、マルチバンドの区別無

・ 個人局 (マルチバンド) 部門

マルチバンドで運用した個人局を対象とし上位3位迄表彰

・ 個人局 (シングルバンド) 部門

シングルバンドで運用した個人局を各バンド毎に上位3位迄表彰

・ クラブ対抗の部

個人局が属するクラブ単位に個人局運用の得点を事務局にて集計して表彰

==== 電子ログの形式と提出要領 ====

1. 2012 年度 オールメルコ・QSO パーティの提出書類は、電子ログ形式とする。

【電子メールによる提出】

- ・ 所定の様式で作成したテキストデータをメールで提出先(XXX@XXXX.XX)へ送信する。
受領返信をもって受付とする。(提出日時は提出先メールサーバが受信した時刻とする)
- ・ 電子メールの表題には提出局のコールサインを含むこと。

[表題の例]

JX3XXX LOG

JX3XXX LOG 1028 (日付を追加した例)

- ・ 書類のサマリーとログはテキスト文字とし、添付ファイルまたはメール本文として送付する。

【記憶媒体による提出】

- ・ 3.5 インチフロッピーディスクまたは USB メモリ、SD カード(mini、micro を含む)、CD-R、DVD-R
へ電子メールによる提出と同形式のデータを記憶し郵送する。記憶媒体は返却しない。
- ・ 封筒には「(記憶媒体の名称)在中」と明記する。
- ・ 締切は消印有効とする。

2. 標準様式のサマリーシート

JARL 推奨の様式(<タグ>形式)を標準とする。ZLOG 出力のテキスト様式でも可。

それ以外の場合は下記【必須】と書かれた項目を必ず含むこと。

【必須】 コールサイン：JX3XXX/3 (交信で使用したコールサインをそのまま明記)

【必須】 参加部門名：マルチバンド (またはシングルバンド参加の周波数帯)

【必須】 氏名：三菱 太郎

【必須】 連絡先：XXX-XXXX 京都府長岡京市 XXXXXXXX (電子メールの場合も必須)

【必須】 運用地：2209 長岡京市 (市郡区ナンバーの該当する都道府縣市町村区まで明記)

【必須】 総得点：4611 (各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和)

【任意】 バンドごとの交信局数、得点、およびマルチ数

[マルチバンドの例]

FREQ	QSO	POINT	MULTI	
7 MHz	35	105	17	
21 MHz	7	14	5	
144 MHz	20	40	7	
Total	62	159	29	4611

[シングルバンド(7MHz)の例(CHK-LOGを含む)]

FREQ	QSO	POINT	MULTI	
7 MHz	35	105	17	
21 MHz	7	0	0	
144 MHz	20	0	0	
Total	62	105	17	1785

【任意】 コメント： 天気が良く快適な移動運用ができた。

3. 標準様式のログ

mon	day	time	callsign	sent	rcvd	multi	MHz	mode	pts		
10	28	1203	JX1XXX	599 2209YJO	599 1114ZVP	1114	7	CW	2		
10	28	1242	JX6XXX	59 2209 メルコ京都	59 4205 メルコ長崎	4205	21	SSB	1		
10	28	1318	JX3XXX/3	59 2209 メルコ京都	59 22003 メルコ京都	22003	144	FM	1		

- ・ 第1行目は項目名文字列を1度だけ書く(必須)。データは2行目から最終行まで。
- ・ 英数記号文字は総て半角文字を使用する。漢字かなカナに限り全角文字の使用を認める。
- ・ データとデータの間は、最低1個の半角スペースまたはカンマ、タブ区切りとする。
- ・ 時刻はJST(日本国内運用)またはUTC(国外運用)とする。
- ・ 羅列は交信時刻順を標準とするが、バンド毎にまとめてもよい。

4. 標準様式以外のログ

交信データの項目は、band date time call sent rcvd multi point mode の 9 項目とし、第 1 行目には上記のような文字列を記述する。各項目の記載順序は任意とする。上記以外の項目はあっても無視する。

[第 1 行目の文字列]

各単語を区切る文字は 1 個以上の半角スペースまたはカンマ、タブとする。
使用する文字は意味が分かれば略号で構わない。

例) MONTH,MON,MM...、 DATE,DAY,DD...、 CALLSIGN,CALL,CL...、 POINTS,POINT,PTS...

[2 行目以降]

上記第 1 行目の文字列区切りに合わせ記述する。

- ・月日を date として 1 つの項目とする場合、mm/dd または mmdd 形式とする。
mon day のように 2 つの項目に分けた場合は、区切り文字で区切る。
西暦年の記載の有無は問わない。
- ・時刻の表示は、hh:mm または hhmm の 24 時制とする。
- ・コールサインの途中に空白を挿入しない。

[NG 例] JX1△XX, JX4XX△/3 など (△は空白を意味します。)

- ・sent、rcvd 欄の RST と市郡区ナンバーとの間には空白を入れる。
- ・マルチをとらない交信データの multi は、4 個以上のスペースとする。
- ・ポイントをとらない交信データの point は、0(ゼロ)とする。
- ・部分的に受信できなかった部分には「?」「-」等の代用記号を記入する。
ログに記載した不完全な交信は得点にならないが、相手局がその交信を記載していれば、相手局が送信した内容をアンマッチリストの中で通知できる。

[ログの例 1]

mm dd time call	sent	rcvd	multi	MHz	pts	mode			
10 28 1001 JX1XXX	599 2209YJO	599 1106ZVP	1106	7	2	CW			
10 28 1013 JX1XXX/7	599 2209YJO	599 ??		7	0	CW			
10 28 1044 JX3XXX	59 2209	メルコ京都	59 2601	メルコ和歌山	2601	21	1	SSB	
10 28 1045 JX3XXX	59 2209	メルコ京都	59 2601	メルコ和歌山		21	1	SSB	
10 28 1126 JX3XXX/3	59 2209	メルコ京都	59 22003	メルコ京都	22003	144	1	FM	
10 28 1201 JX2XXX	59 2209	メルコ京都	?? ??		144	0	SSB		

[ログの例 2]

date,time,call,sent,rcvd,multi,freq,mode,pts

10/28,10:01,JX1XXX,599 2209YJO,599 1106ZVP,1106,7,CW,2
 10/28,10:13,JX1XXX/7,599 2209YJO,599 ??, ,7,CW,0
 10/28,10:44,JX3XXX,59 2209 メルコ京都,59 2601 メルコ和歌山,2601,21,SSB,1
 10/28,10:45,JX3XXX,59 2209 メルコ京都,59 2601 メルコ和歌山, ,21,SSB,0
 10/28,11:26,JX3XXX/3,59 2209 メルコ京都,59 22003 メルコ京都,22003,144,FM,1
 10/28,12:01,JX2XXX,59 2209 メルコ京都,?? ??, ,144,SSB,0

[ログの例 3]

date	band	mode	time	call	sent	rcvd	multi	pts
20121028	40	CW	1001	JX1XXX	599 2209YJO	599 1106ZVP	1106	2
20121028	40	CW	1013	JX1XXX/7	599 2209YJO	599 --		0
20121028	15	SSB	1044	JX3XXX	59 2209 メルコ京都	59 2601 メルコ和歌山	2601	1
20121028	15	SSB	1045	JX3XXX	59 2209 メルコ京都	59 2601 メルコ和歌山		1
20121028	2	FM	1126	JX3XXX/3	59 2209 メルコ京都	59 22003 メルコ京都	22003	1
20121028	2	SSB	1201	JX2XXX	59 2209 メルコ京都	-- --		0

以上